

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

<編集発行>

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361(fax 兼用)  
市議会議員 吉田つとむ  
yoshidaben@gmail.com



## 町田市の産業で期待をかける:メロン水耕栽培システムの普及

町田市・つがる市・越谷市の3市連携で全国へ

私は町田市内の企業(大浩研熱株式会社)が開発した水耕メロン栽培システムの全国展開を注目しています。このシステムを利用して、町田市内ではシルクメロンと言うブランド名で生産発売されており、大変好評を博しています。元来、この企業は、エアノズル・エアブローの開発販売を手掛ける技術系企業であり、その技術が応用され、養分の供給を効率的に行う水耕栽培方式(町田式新農法)による方法で、1本の株から数十個のメロンが実る方式が注目され、全国に展開されているものです。

私が訪ねたところでは、青森県つがる市(全国で第3位のメロン栽培地)や、埼玉県越谷市などがあり、それぞれの市で農政部門の重点施策に取り入れられているものです。町田市の農業祭のイベントでは、つがる市と越谷市の取り組みが紹介されたパネルがともに展示され、注目を浴びていました。



吉田つとむは、まずこの3自治体のメロンが、一堂に会したおいしさ比べの日本一決定戦の大会を提唱しています。

## 町田市議会は給付金で臨時議会を開催

円安を好機ととらえた誤算と国民資産の目減りの行方

国の交付金を使った、お金を下る事業が行われます。そのために、各自治体は臨時議会を開いて、その施策を審議する予定です。いわゆる「お米券」の配布を政府が構想していましたが、その手数料が多すぎて、実際の消費者に渡る分が減ることで評判を落とし増しました。



町田市では、現金とポイントで配布を図る見込みで、ポイントの方が早く自分の手元に渡ると宣言をしているので、ポイントが普及するのではないのでしょうか。東京都は独自にポイント配布を行うことを決めており、時代はポイント一直線に進んでいくのではないのでしょうか。私自身は、「現金派」でポイントのやり取りをするのはほとんど控えてきました。それも、今年あたりが転換点になるのではないかと、そうした気配を感じています。

当初は、石破前首相が打ち出した2万円のバラ巻きでしたが、石破首相の退陣でその額の2割のバラマキに縮小になりました。これから先に懸念されるのは、円安で、エネルギーや食料品の値上がりが一層顕著になり、一般勤労者や年金生活者の生活に厳しさが表れてくると推量されます。

自動車の輸出増だけで日本経済全体が持ちこたえるか

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田発技術を駆使使用した水耕栽培メロン 全国に広がる産地を結集、まずは日本一を決める

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員3名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、第  
57期生が先行スタート。

## 高市首相国会解散と立憲公明の新党結成

一部に予想されていたとはいえ、現実には真円度予算を通した後に、国会解散、衆議院議員選挙に見られていたものが、読売新聞のスクープ通りに、1月23日に国会解散の意向が正式に明らかにされた。ただし、衆議院議員選挙の公示が1月27日と迫っており、国(総務省)は衆議院議員選挙に向けた指示を各選挙管理委員会に出しており、そろそろ公営ポスター掲示場の看板も出来上がることでしょう。27日に間に合わなかったら、各陣営はポスター貼りに奔走するので、大変な事態となってしまう。



2回の衆議院選中選挙区に立候補した際の写真

さてこれを向かい打つ、野党では野党第一党の立憲民主党が公明党と合体して新党(中道改革連合)を作るといふものです。ただし、それは衆議院に関するもので、公明党は小選挙区から全面的に撤退し、新党の比例代表議員の上位にランクされ、当選を期すといふものです。他方の立憲民主党は比例の下位に置かれ、小選挙区の当選か、相手との勝ち負けを僅少さで戦えるように、公明党の基礎票の支持を受けようといふものです。

その他の政党で新たな手を打てる政党は無く、国民民主党は、立憲側が業を煮やした側面があり、この「中道改革連合」と正面から戦う選挙区が多くなるでしょう。参政党は全国に候補者を数多く立て、相当との得票を得て、当選者を出すのではないのでしょうか。その他の政党は埋没か、停滞が候補者人選からうかがえます。

## インターン体験記6-②古閑 永都

私立高校2年生 古閑永都(第57期生)

今回は能ヶ谷にある武相荘を見学しました。武相荘は吉田茂の側近として戦後GHQとの交渉を担った実務官僚である白洲次郎の終の棲家であり、随筆家である妻・正子の思想の拠点でした。当時にしては広い家屋でしたが物は多くなく、ブランド品にも殆ど頼らない質素な生活をしていたようです。活動的だった白洲も晩年にかけては籠りきりでボンと舞い込んでくる仕事をこなしていたようで、彼の本にまみれた仕事場には政治に関するものだけでなく歴史書、詩集、各種参考本など多様な種類があり、仕事の幅広さが伺えます。別棟には職を辞す際にマッカーサーに贈ったとされる椅子が展示されており、それには円状に5つ星が彫られています。当時マッカーサーが就いていた「元帥」は五つ星将軍とも呼ばれていた為だと考えられますが、ここからも白洲の形式張らない、無言ながらも最大の敬意をひしと感じました。白洲次郎は政界で活躍しましたが、政治家ではありません。武相荘には彼を称える勲章や権力誇示の為の展示品は一切無く、正に一般人の人格がそのまま残る場所です。政治は人格の延長であることを実感し、何を語るか以前に自分の芯を大事にすることの重要性に気付かされた機会でした。私は、まだ未成年ですが、大人の目線から見方を改めるきっかけになりました。



武相荘の園庭で撮影したものです。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2026年1月末までに115名が参加しています。

◎57期生として、私立高校2年生の「古閑永都」さんのインターン研修体験記を掲載中です。講義が中心ですが、視察見学記も加えています。

\*ただいま、2026年春季インターン生を募集しています。